

# 肱川地区複合公共施設整備基本計画 ＜概要版＞



令和2年6月策定  
総務企画部 復興支援課

## 1 施設整備の背景と目的

- 背景 ● 被災による地域コミュニティの衰退  
● 避難施設（公共施設）の老朽化・耐震性問題

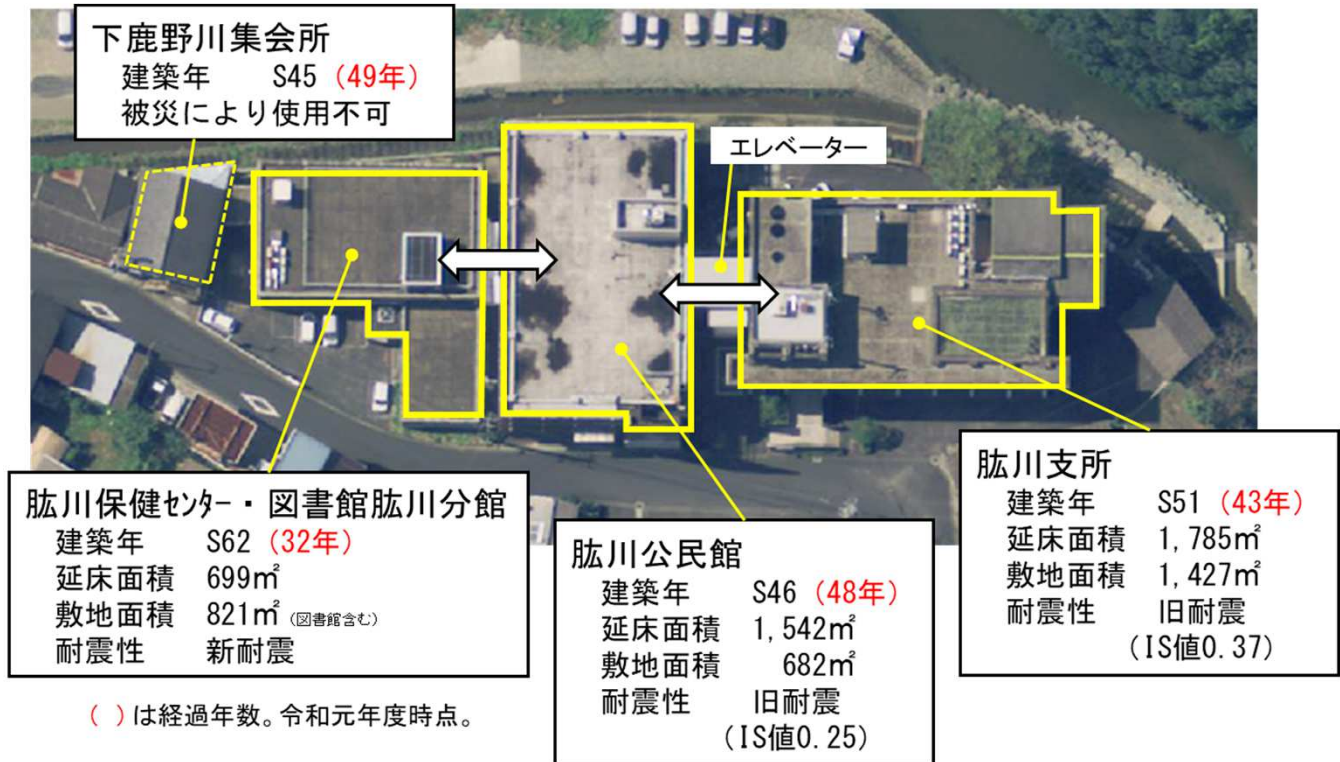


- 目的 ○ 地域コミュニティの再生  
○ 安全な避難場所の確保  
○ 老朽化・耐震性問題の解決

手段

『まちの再生・復興拠点』  
の整備

## 2 再整備の対象となる施設の現状と問題点



### 各施設に共通する問題点

#### ▲ 施設の老朽化

- 補修が必要な箇所が多数ある。
- 肱川支所と肱川公民館は旧耐震基準の建物である。

#### ▲ バリアフリー、ユニバーサルデザインへの対応が不十分

- 階段や段差が多い。
- 多目的トイレや授乳室が整備されていない。
- エレベーターは渡り廊下に後付けされたもので3施設で共用している。

#### ▲ 駐車スペースの不足

- 支所と公民館の1階が駐車場となっているが、公民館は天井が低く車高の高い車は駐車できない。
- 駐車場が狭く、公用車も駐車しているため、来庁者用のスペースが不足している。

### 3 施設整備の基本的な考え方

地域住民が一カ所で複数のサービスを受けることができる現在の利便性を維持しつつ、将来の人口を見据えながら、運営面、防災面、コスト面などさまざまな視点から効率的かつ効果的な整備方法を検討した結果、基本的な考え方を次のとおりとします。

各施設の機能（サービス）の維持に必要なスペースを確保しつつ、共有できるスペースは可能な限り共有し、コンパクトで利用しやすい施設を目指します。

具体的には、既存施設のうち耐震性に問題のある建物は解体し、各施設の機能を集約した「肱川地区複合公共施設」を新たに整備します。

### 4 目指すべき姿と基本理念

複合公共施設は、今後の肱川地域の復興促進と発展を目指す地域づくりの拠点となる施設です。誰もがいつでも気軽に利用し、交流が生まれ、地域と人との結びつきを強め、きらめく地域を未来の子どもたちへつなげていける施設を目指します。

#### ◆ 目指すべき姿

「未来につなぐ きらめく地域づくりの拠点」

→ 基本理念

- ① 利用者にやさしい施設
- ② 災害に強い施設
- ③ 将来に負担をかけない施設
- ④ コミュニティづくりの拠点となる施設
- ⑤ 多様性に柔軟な施設

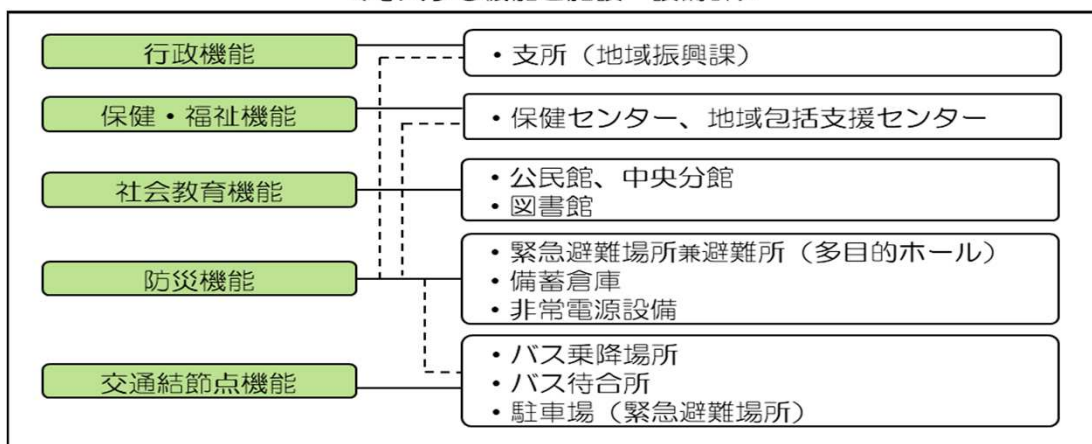
### 5 整備場所

現在進められている災害公営住宅の整備や河川整備などの復興事業により、今後も鹿野川地区が肱川地域における地域自治の拠点となることが見込まれること、また、新たな施設用地購入による事業費の増加を抑制するためにも、現在と同じ敷地内に施設を整備します。

### 6 導入する機能

複合化の対象とする施設は、「肱川支所」「肱川公民館」「肱川保健センター」「図書館肱川分館」の4施設とします。複合公共施設には、「行政関係機能」「保健福祉機能」「社会教育機能」に加え、「防災機能」及び「交通結節点機能」を導入します。

<導入する機能と施設・設備群>

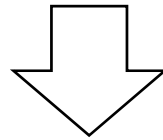
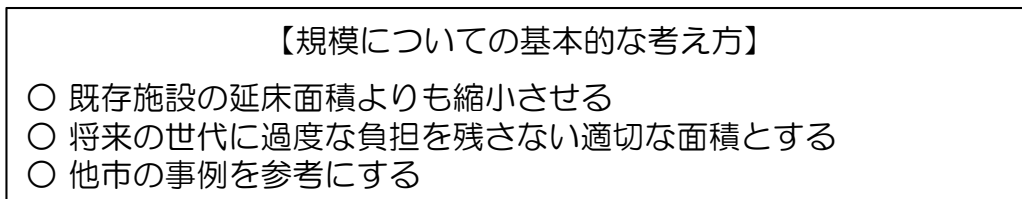


※中央分館には、肱川中央自治会事務局を含みます。

※下鹿野川集会所は解体し、整備事業の中で活動場所を確保します。

## 7 施設規模

大洲市公共施設等総合管理計画に定める基本方針に基づいて、規模についての基本的な考え方を整理した上で、機能ごとの必要面積を精査した結果、施設の規模は次のとおりとします。



機能ごとの必要面積を精査

- ◆ 複合公共施設の総延床面積 約1,600m<sup>2</sup>
- ◆ 肱川保健センター・図書館肱川分館の建物は、器具・備品倉庫や書庫など、複合施設の附属建物として有効利用

## 8 建物の構造・設備等

複合公共施設の構造や設備等についての基本的な考え方は次のとおりです。

安全性の目標	官庁施設の総合耐震・対津波計画基準「Ⅱ類-A類-甲類」
構造形式	鉄筋コンクリート造
建物の形状	3階建て（総3階）
設備	メンテナンス性の高さや長寿命化に配慮しライフサイクルコストを低減
防災	受変電設備や非常用発電機等、施設の機能を維持する設備は3階以上に配置
環境対策	費用対効果を検討しながら、再生可能エネルギーの活用や省エネ技術の導入など環境負荷軽減対策に取り組む

## 9 施設ゾーニング

複合公共施設内における各フロアの機能配置の考え方は次のとおりです。

なお、1階部分は洪水による浸水被害を受ける可能性があります。河川整備完了後は治水安全度が向上することや地域住民の方々の意見を踏まえ、施設利用者の利便性を優先し、利用頻度の高い機能を配置する計画としています。

階	コンセプト	配置する機能
1階	地域コミュニティ創造フロア	公民館、図書館、支所窓口、多目的ホール、バス待合所など
2階	事務所フロア	支所、保健センター、包括支援センター、会議室、相談室など
3階	防災・避難施設フロア	多目的ホール、防災備蓄倉庫、サーバールーム、防災行政無線室など

